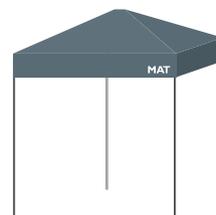


マットスプレーの夏季・冬季対策

夏季対策

● 簡易テントで材料を管理

炎天下に材料を放置しておくとう材料の温度が上がってしまうため、簡易テントを設置し日陰を作るとしてごください。特に**バインダーや水の温度には注意を払ってごください**。温まったバインダーや水を使用すると、ネタ材を作っている間にも硬化が始まってしまう、取扱いが難しくなります。ネタ材が硬くなった場合は水を追加し、毎回同じ硬さになるように確認しながら作業を行ってごください。ただし、**水の入れすぎにはご注意ごください**。



● シーラーを**ソルベント**(キシレン)で希釈する

夏は気温が高いためシーラーを塗布する際、シーラーに含まれる**ソルベント(キシレン)**が揮発します。ソルベントが揮発すると**アクリル分が多くなり、塗布しづらくなります**。シーラーを半分くらい使ったら、ソルベントを**0.5ℓ~1ℓ**追加し、薄めて使用してごください。



冬季対策

● **プロパンバーナー**を使用する

冬季の施工で問題となるのが**“乾きの悪さ”**です。吹付け材をスプレーしたあと、完全に乾くまでの待ち時間が夏に比べると数倍にもなります。そこで、待ち時間を減らす方法として**プロパンバーナー**のご使用をお勧めします。それにより、**施工時間をかなり短縮**させることができます。ただし、下記注意事項を厳守してごください。



- ◆バーナーの口を**下に向けて**使用する。
- ◆バーナーの口を**絶えず動かし**ながら使用し炎が一点に集中しないようにする。
- ◆炎が透明で見えづらいため**床との距離を十分にと**って使用する。
- ◆**建物付近での使用は控**える。

● 吹付け材に使用する**水を温める**

冬季に冷たい水をそのまま使用すると、硬化が遅くなり固まるまでに時間がかかります。時間を短縮するために温めた水のご使用をお勧めします。



● 1日目の作業が完了したら**ブルーシート**で覆っておく

夜露が降りそうなどときには、1日目の作業完了後に吹いた箇所をブルーシートで覆っておくと、夜露を避けることができ、2日目の作業にスムーズに入れます。